

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

3月号

令和2年3月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第369号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/事務局長 横井 悟

500回を迎える 新渡戸中野総合病院のCPC (臨床病理検討会)

病理診断科 部長 廣川 勝昱

私が中野総合病院に東京医科歯科大学から病理医として派遣されたのは1975年の1月である。300に満たない病床数でありながら、立派な解剖室があり、1975年の1月7日に行われた剖検(死因や病変などを調べるために死体を解剖、検査すること)の番号は823であった。その頃の院長は藤森 兵夫先生で、院長を中心にCPC(臨床病理検討会)をやっている、私も病理医として参加した記憶がある。

『東京医療生協50年史』を見ると、1974年の10月1日に医局CPC復活という記録があるので、私が参加したCPCは復活直後のことである。

このころに復活したCPCを第1回とすると、この2月には500回目のCPCとなる。脳神経研究室(新渡戸脳研)室長の内原先生から、500回のCPCに因んでなにかやりますかと聞かれたので、まず、「新渡戸記念中野総合病院だより」に報告することを考えた。

内科学雑誌に報告されている年間20例以上の剖検例のある一般病院は40院あるが、その中で、新渡戸記念中野総合病院は病床数最小ながら、剖検率は2位である。

患者さんが不幸にも亡くなると、その死因に疑問が残ることは珍しくない。今は、CT、MRI、エコー

などで、身体内部の様相がかなり分かることが多いが、それでも疑問は残る。まして、今のような画像解析装置がない時代は、疑問だらけであったと思う。剖検は肉眼的にみるだけで、かなりの程度わかる。脳も内原先生によれば、肉眼的にかなりわかるそうであるが、その理解には、脳の解剖学の正確な知識が必須である。

私がこの病院に赴任したのは、2005年であるが、脳については、脳病理の専門家に依頼した方が良くと考え、都の研究所にいた内原先生にお願いした。そして10年以上たち、内原先生の定年退職とともに、本院に来てもらったのは僥倖というしかない。実際に内原先生が来てからは、CPCも活性化し、研修医が積極的に参加するようになった。

これからも、いろいろ工夫して、活性化したCPCを発展させたいと願っている。皆様方のご協力をお願いする次第である。



生協組合へのご加入のお願い

新渡戸記念中野総合病院の母体である東京医療生活協同組合は、「消費生活協同組合」の法人です。この生活協同組合は、組合員の皆様からの出資金が経営の基盤になっています。東京都内にご住所がある方、あるいは東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。

組合に加入するには、出資申込書に出資金(1口200円、5口1,000円より)を添えてお申し込みください。

担当 新渡戸記念中野総合病院 総務課
☎03-3382-1231 (代)

第23回 新渡戸記念中野総合病院 区民健康講座のお知らせ

テーマ **大腸がんについて**

日時 2020年4月4日(土)14時~15時

講師 新渡戸記念中野総合病院 消化器外科部長 吉田 剛

場所 東京都生協連会館3階会議室

定員 50名(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

参加申し込み先 患者支援センター 連携担当 ☎03-3382-1231 (内線211)
または総合受付④番窓口



組合員の皆様へ

東京医療生活協同組合は、機関紙「新渡戸記念中野総合病院だより」を通して私どもの活動を皆様にお知らせして、皆様との交流を図って参りました。このたび、この活動をさらに発展させ、皆様からのご意見を積極的にお聞きして、当生協の運営に役立てることといたしました。

つきましては、当組合に対するご意見、ご要望を郵便、メール、またはFAXにてお送りくださいますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。



宛先

東京医療生活協同組合総務課

住所 〒164-0011 中野区中央4丁目59番16号

メール soumu@nakanosogo.or.jp FAX 03-3381-4799

新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

「がん哲学外来」は、がんまつわるさまざまな悩みを対話を通して解消する外来です。
 東京医療生活協同組合の組合員およびそのご家族の方を対象にしております。
 外来に費用はかかりません。
 当生協組合員(原則)の方ならどなたでも無料で予約できます。

組合員でない方は
 お気軽に予約受付に
 ご相談ください。



予約受付 新渡戸記念中野総合病院 患者支援センター

電話 03-3382-1507 **受付時間** 午前8時30分～午後4時30分

開催予定日 2020年3月3日(火)、3月10日(火)、3月17日(火)、3月24日(火)、3月31日(火)
 1回あたり約50分(1日4組まで)

3月の小児救急体制



3月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の
 変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

*血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間 毎日午後7時～午後10時

夜間受付 ☎03-3382-9991

3月準夜間小児初期救急担当医

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 1 清水 泰岳 | 2 小須賀 基通 | 3 細谷 直人 | 4 宇野 真二 | 5 赤松 信子 | 6 右田 王介 | 7 保崎 明 |
| 8 清水 泰岳 | 9 亀井 宏一 | 10 高梨 栄 | 11 千葉 智子 | 12 奈良 昇乃助 | 13 清水 泰岳 | 14 清水 泰岳 |
| 15 右田 王介 | 16 亀井 宏一 | 17 渡辺 仁 | 18 粟津 緑 | 19 赤松 信子 | 20 右田 王介 | 21 亀井 宏一 |
| 22 右田 王介 | 23 亀井 宏一 | 24 小池 林太郎 | 25 山岸 稔 | 26 奈良 昇乃助 | 27 右田 王介 | 28 亀井 宏一 |
| 29 清水 泰岳 | 30 亀井 宏一 | 31 細谷 直人 | | | | |

新渡戸記念を支える

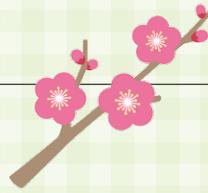
職場紹介

新渡戸の一員としての対応を心がけています 秘書室

秘書室室長 西岡 涼子

秘書室では、理事長・病院長、副院長の来客・電話対応、スケジュール管理、出張・外出時の手配などが、主な業務となっております。

医療従事者や他の事務部門に比べて、医療や医療に関連する業務に関わる機会はそれほど多くはありませんが、新渡戸記念中野総合病院の一員として、患者さんや職員のお役に立てるよう、微力ながら日々努めたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



新渡戸 の 言葉

今月号は、新渡戸 稲造先生の生涯の伴侶であった新渡戸 萬里子夫人(Mary Patterson Elkinton Nitobe)が、結婚後間もなく初めて北海道の地を踏み、最初に米国の両親に宛てた手紙からの引用です。萬里子夫人(メリー夫人)は米国フィラデルフィアの名家に生まれ、1891年(明治24年)1月1日に新渡戸先生と結婚されました。格調高い英文の『武士道』は、「当時の西洋人、特に妻メリーに分かるように心をこめて書かれた」(湊 晶子)もので、萬里子夫人に捧げられた本でもありました。新渡戸夫妻の養女・琴子さんは「母メリーは信仰篤く、愛に満ちた立派な人でした。もし『新渡戸 稲造は偉い人』とお思いくださる方がありましたら、それは母の内助の功があったからこそということ覚えていただきたい」と書き残しています。また、新渡戸先生亡き後、萬里子夫人は「いつアメリカに帰りますかと聞かれるほど寂しいことはありません。私は日本人・稲造の妻で、私の国は日本です」と述べています。(湊 晶子著『新渡戸稲造と妻メリー ～教育者・平和主義者として～』より)

「大切な人について行け 命を預けて すべてを捨てていけ」
(映画『鉄道員』主題歌より)

この歌を聴いた時、何故か新渡戸 萬里子さんの事が想われてなりません。折に触れ新渡戸先生の心の支えであった夫人のことも取り上げて参ります。

多磨霊園に新渡戸 稲造先生と共に眠る墓石には、新渡戸家第44代 新渡戸 稲造 妻「新渡戸 萬里子」と刻まれています。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

「三月四日(明治二十四年)ついに憧れの地(蝦夷)にやってきました。ここに来たことを深く感謝しています。(中略)私は小樽から札幌までの短い旅の間に、北海道が故郷(ペンシルバニア州)にとってもよく似ているのを発見して、嬉しくてたまりません…」
(新渡戸 萬里子氏 書簡より)

『新渡戸稲造と妻メリー』

湊 晶子 著